

臓器や人体リアルに表現

独自グッズ販売、好評

大館 川崎医科大学
川崎医科大学 川崎医科大学

臓器の模型などの展示を通じて人体の仕組みや最新医学を学べる川崎医科大学大現代医学教



川崎医科大学大現代医学教育博物館で販売されているオリジナルグッズ

る。臓器や人体の構造を扱ったマニアックさとともにリアルなデザインが受けているとい

グッズはトートバッグやクリアファイル、マスクングテープ、缶バッジなど。脳や肺の形をしたアクリル製スタンドキーホルダーは、血管や気管支を忠実に表現しながらもピンクやブルーのパステルカラーでかわいらしく仕上げてい

る。頭蓋骨の形に合わせた中央を透明にした下敷きは鼻骨、側頭骨といった骨が描かれ、顔を当てるとそれぞれの位置が分かるユニークな

商品。赤血球が流れる血管を描いたマスクングテープや付箋もある。

博物館をもっと知ってもらおうと職員からアイデアを募り、23年に5種類を発売。来館者や学生に好評で25年に第2弾を作った。100〜750円と手頃な価格とし、博物館の他、同じ敷地内の川崎医科大学大付属病院8階売店に置いている。

博物館は昨年度、約6千人が来館。中村信彦課長は「遊び心を取り入れて作った。子どもや若者が医学、医療に興味を持つきっかけになれば」と話している。開館時間は午前9時から午後4時半（土曜は正午）まで。日・祝日休館。入館無料。

（伊丹友香）